【別紙様式５】

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 類型名 | ふりがな |  | ふりがな |  |
|  | 管理機関名 |  | 学校名 |  |

２０１９年度　地域との協働による高等学校教育改革推進事業　構想調書（管理機関）

１　管理機関名，代表者名

２　事業の目的・目標

（１）事業を通じて育成する地域人材像

（２）（１）を踏まえ，卒業までに生徒に習得させる具体的能力

（３）地域人材の育成・還流を図るシステムの実施体制

３　事業の成果目標・具体的指標等

（１）事業を通じて実現する成果目標

（ア）卒業までに生徒に習得させる具体的能力の定着状況を測るものとして，地域協働推進校となる高等学校等と協議の上，設定した成果目標

（イ）高校卒業後の地元への定着状況を測るものとして，地域協働推進校となる高等学校等と協議の上，設定した成果目標（例：将来地元での就業を希望する生徒数，高等学校卒業後の地元就職率等）

（ウ）その他本構想における取組の成果目標（該当がある場合のみ）

（２）地域人材を育成する地域としての活動指標

（ア）地域人材を育成する地域としての活動の推進状況を測るものとして設定した活動指標（コンソーシアムの構成団体数，地域課題研究又は発展的な実践に協働する地域の外部人材の参画状況（人数×回数），コンソーシアムの活動回数（カリキュラムの検討や成果報告）等）

（イ）その他本構想における取組の具体的指標（該当がある場合のみ）

４　実施体制

（１）コンソーシアムの構成及び役割

（２）管理機関による事業の管理方法

（３）カリキュラム開発等専門家，海外交流アドバイザー及び地域協働学習実施支援員の配置

（４）カリキュラム開発等専門家，海外交流アドバイザー及び地域協働学習実施支援員の役割

（５）管理機関又はコンソーシアムによる主体的な取組

（６）事業終了後における取組の継続に関する計画

（７）高等学校等と地域の協働による取組に関する協定文書等（協定締結に向けた具体的な予定を含む。該当がある場合のみ。）

５　研究開発

（１）地域との協働による探究的な学びを実現するカリキュラム開発に係るコンソーシアムとしての取組内容

（２）カリキュラム開発に係る高等学校等とコンソーシアムの取組の役割分担・相乗効果を生み出すための工夫

６　成果の普及に向けた取組